

法蔵 335号 九月号

・順信寺の予定

\* 大掃除 9月3日(木) 午前8時30分より、報恩講に向けて順信寺の大掃除を予定しております。御門徒の皆様の御協力をお願い申し上げます。

\* 報恩講 9月12日(土) 午後6時より 大速夜 法話

9月13日(日) 午前7時30分より 尋朝 法話

午前10時30分より 御満座 法話

お斎(お持ち帰りいただきます)

布教使 畠山明光師(湧別町 真宗寺)

\* 秋季彼岸会法要 9月22日(火) 午後1時より

(お彼岸は19日から25日までです。今年は中日の22日にお参りをさせていただきます。)

\* 親鸞聖人ご命日のお参り 9月28日(月) 午後1時より

\* 定例法話会 10月12日(月) 午後0時より お話していただく布教使さんは、和寒町顕正寺の高岡純孝師です。ご一緒に仏法聴聞させていただきますよう!!  
お待ちしております。

「私たちは助け合い、清く澄んだ安生の地を求めて生きてきたのではないのでしょうか。それを「御同朋」「御同行」と語ってきたのでしょうか。私たちの「いのち」の根源の願いは安住の地(浄土)を求めて生きていると思うのです。親、子、兄弟、姉妹、縁ある全ての人々の「いのち」は安住の地(浄土)を求めて旅する「旅人」なのでしょう。

その旅の中に先祖、親、妻、子、縁ある人々と共に真の安住の地(浄土)を求めて助け合って生きることを確認し、亡き人、先祖を訪ねるものが「お彼岸法要」なのです。静かに自己を省みてお内仏(仏壇)の前に座し、お念仏申しませう。」(畠山明光)

「拝むもののうえに

拝まれるものの徳が 成就する」

(安田理深)

○ コロナ禍の中、今年もお盆を勤めさせていただきました。万灯会も穏やかな夕べの中、歌登橋の上から20人ほどの方に見守られた灯籠の灯りもきれいでした。御協力皆様有り難うございました。これからは新型コロナウイルス感染に注意して行事を行って参りたいと思います。よろしく願いいたします。

○ 8月5日午後1時より、今年の3月は新型コロナウイルス感染防止のため中止になりました順信寺の仏具磨きが一年ぶりに行われました。ありがとうございました。ピカピカの仏具でお盆のお参りをさせていただきました。ご協力いただいた方々は以下の方です。ご氏名の掲載をもってお礼に代えさせていただきます。(順不同) 大和幸子さん、山本多美子さん、山川幸子さん、黒田キヨ子さん、鳥羽澄子さん、野口恵美子さん、西野寿子さん、木村富美子さん、駒形直美さん、鳥羽米子さん、西沢恵津子さん、吉田道子さん、村田妙子さん、岡部節子さん、禿優子、禿和枝。来年もまたよろしく願いいたします。

「ありがたい」とは、じつは「在り難い」という意味です (略)

「在り難いことが在ったということは、つまり奇跡ということです。

(池田晶子「死とは、何か」より)

△ 横浜市中区宮川町に「うたのぼり」というパブがあります。代表の方はもちろん歌登出身です。この新型コロナウイルス問題がおさまり、機会があれば是非一度行きたいなあ〜と思っております。

宣伝を依頼されたわけでは全くないのですが、皆様も横浜にお寄りの折は立ち寄りください。

「・・・<sup>りこしゆぎ</sup>利己主義だと批判されることもあるのです。でも、本来やはり人間って、そうでなくちゃいけないんじゃないかと思うんですよ。

信仰というのは、現在の自分のあり方におぼれてしまうんじゃないかと、どれだけ純粹に自分自身を見つめることができるか、ということが基本ではないか。・・・」

(三国連太郎)

～色々と状況判断がせまられる中で大切なことは、自分を見つめる正しい眼ではないだろうか。

・忠峰コーナー

「来る度に 這っていた子が 歩き始む」

「グラジオラス 今年も一度 仏壇に」